

第6学年道徳学習指導略案

令和3年1月16日(土) 1, 2校時

授業者 1組 土田 健一

2組 小坂 亜希

3組 二本木 基

- 1 主題名 「困難を乗り越える人間の強さや気高さ」 D よりよく生きる喜び
- 2 資料名 「義足の聖火ランナー～クリス・ムーン～」(『新しい 道徳』東京書籍)
- 3 ねらい 人間として生きる喜びを感じ、自分の命を大切にしていよりよく生きようとする心情を育てる。
- 4 授業の流れ

	学習活動 【◎中心発問 ○主な発問 ・児童の反応】	□留意点 ■評価【評価方法】
導入	(1)地雷の写真を見て、知っていること、感じたことを伝え合う。 ・戦争の兵器の一つだったのかな。 ・地面に埋まっていたら気付かなそうだ。	□地雷の被害に遭ったクリス・ムーンさんの生き方から、自分の生き方について考える学習をすることを知る。 □時系列に写真を黒板に提示し、学習への見通しをもたせる。
展開	(2)資料の本文を読み、困難の中命の大切さを訴え続けたクリス・ムーンさんの心情を考える。 ○地雷によって手足を失ったクリス・ムーンさんは、どんなことを考えたのでしょうか。 ・なぜ自分がこんな目に遭わなければいけないのか。 ・これからどうしていけばいいのか。 ・落ち込んだままではだめだ。 ・自分にはまだやるべきことがあるはずだ。 ○サハラマラソンを走るクリス・ムーンさんを支えたのは、どんな思いなのでしょう。 ・人々に勇気を与えたい。 ・地雷の存在を知ってもらい、無くしていきたい。 (3)資料を通して考えたことをカードに書き、交流する。 ◎命の大切さを自分の身の回りの人たちに広めていくために、自分ができていることを考えましょう。 ・悩んでいる人がいたら相談に乗ってあげる。 ・友達と仲良く過ごす。 ・自分の命を大切に守り、長生きする。	□児童の意見を後ろ向きな感情と前向きな感情に分けて板書し対比させることで、手足が失った苦悩と、それを乗り越えようとする気持ちを読み取らせる。 □サハラマラソンの過酷さを補足し、それを成し遂げたクリスさんのすごさを児童に感じ取らせる。 □児童一人一人に自分の考えをカードに書かせた後、クラス全体で共有する。内容ごとにグルーピングさせる。 ■人間として生きる喜びを感じ、自分の命を大切にしていよりよく生きようとする心情を育てる。【ワークシート・発言】
終末	(4) 友だちの意見を聞いた感想を伝え合い、学びの深まりを確認する。	□黒板に掲示した内容から、命を大切にするための方法が多様にあることに気付かせ、自らの生き方を見直すことができるようにする。